

「下水処理センターの廃止について」に対する質問・意見、回答

No.	資料番号 ページ番号	質問・意見項目	質問・意見内容	回答
1	資料2	下水処理センター廃止について	「さいたま市公共施設マネジメント計画・第2次アクションプラン」に基づき「下水道ストックマネジメント計画」を策定していますが、その時点では明言されていなかった下水処理センター廃止に至った英断の経緯をご説明ください。	「下水道ストックマネジメント計画」策定時には、芝川の水環境保全や災害時等のリスク分散を理由として下水処理センターを存続としていましたが、広域化・共同化が全国的に推進されてきたことや、施設老朽化の現状を鑑みて施設のあり方を検討すべく、下水道部内であり方検討会を発足し、廃止や時期について検討を行いました。その結果、存続より廃止のほうがコストメリットがあるものの、廃止に関して諸々の課題を解決できるのが令和10年度末となるため、同時期をもって廃止としました。
2	資料2 P2	下水処理センターの現状 広域化・共同化の推進	国より広域化・共同化が推進されているとのことですが、さいたま市における、汚水処理の事業運営に係る「広域化・共同化計画」の策定内容についてご教授ください。	広域化・共同化計画につきましては各都道府県が策定することとなっているため、さいたま市では策定しておりません。今後につきましては、流域下水道への編入のほか、中継ポンプ場やマンホールポンプの統廃合について検討を行ってきたいと考えております。
3	資料2 P3	下水処理センターの現状と役割 ①芝川への水環境の影響	下水処理センターの処理水を、芝川の水環境用水源と設定されていますが、センター廃止後の水質変化の影響について、BOD等の水質、水量等の具体的影響推定値をご教授ください。	清流ルネッサンスⅡの計画におきましては、水質目標値はBOD(75%値)が5mg/l以下、溶存酸素(DO)は5mg/L以上となっています。R2年度の値をもとにした影響につきましては、BODは現状の値と廃止後の推計値はともに3.1mg/l、DO(溶存酸素)は現状が7.7mg/l、廃止後の推計値が7.8mg/lとなり、影響はありません。また、水量につきましては目標値は設定されていませんが、処理センターの放流量が芝川の流量に対して最も影響の大きい月が2月であり、放流量10,442m ³ /日に対し芝川流量が172,800m ³ /日で約6%、影響の小さい月は9月で、放流量13,469m ³ /日に対し、芝川流量が613,440m ³ /日で約2%であることから、特に影響はないと考えています。
4	資料2 P4	廃止による効果について ①経済効果	今後50年での平均額を提示されていますが、年度毎の経年効果をご提示ください。	経年効果については存続と廃止の場合でそれぞれ必要な費用を算出しており、年度によって費用が変わる項目としては存続する場合の設備等の改築更新にかかる費用があります。機器によって更新等のタイミングが異なるため、年度毎での効果額を算出することはしていません。

「下水処理センターの廃止について」に対する質問・意見、回答

No.	資料番号 ページ番号	質問・意見項目	質問・意見内容	回答
5	資料 2 P6	下水処理センターの廃止について	第一期包括委託における、事業効果の内訳をご教授ください。	処理場の維持管理にかかる費用としまして、包括委託費は5年で約12億円であるのに対し、包括実施前に要した費用としては、維持管理にかかる委託費が1.6億円、薬品類や電気代などの調達費が5,000万円となっており、5年間で計10.5億円となります。これだけで比較しますと5年間で約1.5億円費用が増額していますが、維持管理にかかる職員が7名から2名となったことから、5人分の人件費が削減されており、削減額として約2.2億円となります。人件費削減額も含めると、削減効果額は5年で約7,000万円、一年あたり約1,400万円となります。
6	資料 2 P6	下水処理センターの廃止について	第一期包括委託予算額：約12億円と第二期包括委託予定額：約16.2億円の上昇理由とコスト削減点をご教授下さい。	第二期では一期目と異なる点として、汚泥処分に係る委託や水質測定機器の賃貸借が含まれています。また、運転管理に係る労務単価や作業経費のほか、原油価格高騰に伴う電力、重油費用が上昇していることから委託費用が上昇しております。内容は大きく変わらないものの、これまで別途発注していた汚泥処分業務等について包括的に発注することで、一年あたり約1,490万円の削減効果が期待できると考えております。
7	資料 2 P6	跡地利用について	供用開始から40年以上経過しており、水槽等構造物・機器類の耐用年数から考えた活用期間をご教授下さい。	跡地利用につきましてはまだ検討しておりませんが、沈殿池などの水処理施設については、年数が経過していることや大部分が耐震化未実施であることから、今後そのまま活用することは難しいと考えています。
8	資料 2 P6	跡地利用について	既存施設を活用した用途変更に必要な改修内容、費用・維持管理費等をご教授下さい。	跡地利用についてはまだ検討しておりませんので、今後検討してまいりたいと思います。